

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	減量化資源化普及啓発事業	担当課・係名	環境美化センター 環境係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	21
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	不明

2.事業の概要

目的 (何のために)	ごみの排出抑制と資源化を推進する。				
対象 (誰を・何を)	全町民、町内事業者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生ごみコンポスト容器、電動生ごみ処理機の普及促進を図る。 ○ おおいそ廃棄物減量化等推進員を活用し、地域でのごみの減量化・資源化策を啓発する。 ○ 集団回収を推進する。 ○ 広報等を通じた普及啓発を図る。 				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,101	2,203	2,273
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	87	60	85
	一般財源	千円	1,014	2,143	2,188
	職員人数 (概算職員数)	人			0.08
	人件費計 (b)	千円			490
総事業費 (a)+(b)	千円	1,101	2,203	2,763	
事業費内訳	○ コンポスト容器購入費ほか 385千円 ○ 電動生ごみ処理機購入費補助金 1,200千円 ○ ルール違反警告シール印刷製本費 91千円 ○ 資源回収協力交付金 562千円 ○ コンポスト容器等購入者アンケート郵送料 6千円 ○ 廃棄物減量化等推進員傷害保険料 29千円				
H 25 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① ごみの総排出量	t	12,491	12,054	11,940
	② ごみの総排出量	t	12,491	12,054	11,940
活動指標 (活動量)	① コンポスト容器・電動生ごみ 処理機の普及基数	基	61・8	42・22	60・30
	② 集団回収資源化量	t	157	142	140
成果指標 (達成度等)	① 1人1日当たりのごみ排出量	g	1,037	1,008	999
	② 資源化率	%	26.9	27.0	27.0

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 行政とおおいそ廃棄物減量化等推進員（地区）が協働で実施している。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町広報やおおいそ廃棄物減量化等推進員の活用により、普及啓発を進めている。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 生ごみコンポスト容器、電動生ごみ処理機の普及を進めることができ、ごみの減量に繋がっている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 ごみの減量・資源化が図られている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 補助制度の充実を図ったため、削減できていない。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 ごみの減量化・資源化手段の多様化や、補助制度の見直しが必要である。

5.改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	ごみ処理広域化により、平成25年10月から大磯町のほとんどのごみが平塚市の施設で処理される。今後は、平塚市に処理に係る負担金を支出することになるが、この負担金は処理するごみの量に影響される。様々なごみの減量化・資源化の手段を町民へ紹介し、おおいそ廃棄物減量化等推進員との協働により、更なる減量化・資源化に努めていく。
② 平成26年度に着手する事項	コンポスト容器、電動生ごみ処理機以外の減量化手段の普及啓発を行う。
③ その他（課題、調整事項等）	補助制度の見直し、創設に関しては、財政面での調整が必要となる。

6.平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

コンポスト容器、電動生ごみ処理機の更なる普及を図るとともに、モニター制度を取り入れ、他の減量化手段の普及に向けた取組みを進めていく。
--